



発行所

一般社団法人 全日本木材市場連盟
編集・発行人 小合信也
東京都文京区後楽1-7-12
〒112-0004 林友ビル6階
電話 03(3818)2906
FAX 03(3818)2907
毎月1回1日発行
定価・年3,000円
(会員は会費に含まれています。)

平成29年度第1回木材需給会議

林野庁は、平成29年6月23日に「平成29年度第1回木材需給会議」を開催し、「主要木材の需給見通し(平成29年第3四半期及び平成29年第4四半期)」を策定・公表した。

I 見通しの要点

(1) 平成29年第3四半期(7~9月)需給 国産材合板用丸太、輸入丸太及び合板は、前年同期比増、国産材製材用丸太及び構造用集成材は前年同期同程度、輸入製材品は、前年同期比減少見通し。

(2) 平成29年第4四半期(10~12月)需給 国産材合板用丸太、合板及び構造用集成材は、前年同期比増、輸入丸太及び輸入製材品は、前年同期同程度、国産材製材用丸太は、前年同期比減の見通し。

II 資料の概要(抄)

1. 住宅着工見通

28年度住宅着工戸数は、前年比+5.8%と3年連続の増。29年4月は100.4万戸。貸家による牽引大。住宅着工の6割弱占める木造住宅は、全体を上

回る伸び。今後は貸家に関する調整要因が見られ、予測では、28年度実績を下回る90万戸台半ば近傍の見込みが主流。

2. 木材業界の動向

29年3~5月の販売量・仕入量は、流通では仕事量に差が見られ、製造では増加傾向が前月程度に落ち着く傾向。販売価格・仕入価格は前年並み続いている。6月以降販売量は、流通、製造共に増加見通し。仕入量は流通増加、製造前月並見通し。販売価格は、保合見通し。3か月後相場予想 米材は流通、製造とも強含、南洋材は保合、北洋材(欧州材を含む)は流通保合、製造強含、国産材 両部門とも保合予想。

3. 国産材に関する動向

5月上旬の森連共販平均価格は、スギ柱用材11、400円/m、同中目材11、600円/m、ヒノキ柱用材が14、800円/m、同中目材14、900円/m。4月の原木販売量はスギ・ヒノキ共減少。原木価格はスギ柱材保合、中目材弱含、ヒノキは弱含から一転反発に転じた。暖かくなり、虫害増え、心札不調の地域も。製品市況は徐々に動き出始めたとの声もあるが、虫害時期になるため原木及び製品価格動向に注視。

4. 国産材丸太(製材用)の動向

29年第1四半期実績は前年同期比微減。第2、第3、第4は前年同期比微減の見通し。国産材丸太の供給量は大きく変動なく、梅雨期に入り多少の減予想、素材生産業者の動向に大きな変化見られず。需要は若干落ち着いた動きも、業者ごとの差大きく、プレカット受注残も業者によって差。米材入手しにくいとの情報、欧州材も円安による価格上昇傾向に加え入手難しくなりつつあるとの声。

5. 国産材丸太(合板用)の動向

29年第1四半期実績は住宅着工の回復、国産材合板へのシフト、輸入合板の減少、フロア合板等への国産合板の需要増、国内合板工場の最大限稼働、合板工場の生産力アップ等があるも前年同期比で減少。第2四半期は前年同期比減、第3四半期は型枠用合板の需要増、新規工場稼働見込みにより前年同期比増、第4四半期は更に新規工場稼働により前年同期比増見通し。

6. 米材丸太需要動向

29年第1四半期実績は住宅着工の堅調、中国の買付旺盛で産地価格強含み、内地価格も先高観出だし、一部仮需の可能性、前年同期比増。第2四半期は堅調な需要続き、産地価格上がり続けると国内での採算厳しくなる。第3四半期はファイアークロージャー予想され入荷、更に抑制されそうも、需要は夏場製材・

主要木材の入荷量等の概要

Table with columns: 国産材丸太 (製材用, 合板用), 輸入丸太, 輸入製材品, 合板, 構造用集成材. Rows include 26年計, 27年計, 28年各四半期, 28年計, 29年各四半期, 29年計.

(単位: 千m³, %) (括弧内は前年比又は前年同期比)

プレカットとも米材需要堅調推移が予想され、前年同期程度、第4四半期は前期とほぼ同程度の需要、前年同期程度の見通し。米材だけ価格の居所高くなり過ぎると製品敬遠される恐れあり要注意。

7. 米材製材品需要動向

29年第1四半期実績は現地原木不足、高値不採算続き、日本側買い意欲薄く、前回予測より減。第2四半期は入荷の減少あるが前年同期並み、第3四半期は現地原木不足もある程度解消し、入荷安定も、採算厳しい状況続き、積極的買付までは至らず、前年同期比若干増、第4四半期は住宅着工が90万戸超えれば需要伸びて来るが、戸数的に伸びるか不透明、前年同期比減の見通し。戸建ては金利低いうち消費税増税前に分譲住宅等購入の動き底堅く、木材需要は明るさが見られる。

8. 北洋材丸太需要動向

29年第1四半期実績は、合板向けカラマツ入荷増により昨年同期比増。第2四半期は前年同期比減、第3四半期は季節要因により入荷減となり前同様の見通し、第4四半期は米国市場によつては合板向け丸太増の可能性、製材向けは減少と思われ前年同期比微減の見通し。

9. 米材、欧州材、北洋材、輸入集成材の供給動向

(1) 米材丸太供給 29年第1四半期実績は堅調な需要に支えられ予想以上の入荷。第2四半期は前期比同水準又は若干落ち込むレベル、第3四半期は天候次第も、入荷低調期で前年同期比とほぼ同じ、第4四半期は前期落ち込んだ分多少調整あり、秋需により若干増加の見通し。

(2) 米材製材品供給

29年第1四半期実績は6割を占めるSPFは前年同期比増も、ダグラスファー、ヘムロックの入荷減でトータルでは微減。第2四半期は現地天候も安定、順調な生産予測される中、北米市況強含み、北米関税関係もあって高値推移が予想されるが、前期入荷少なかった分前年同期比同等、第3四半期は為替次第も北米市況大きく変動見込まれず、高値推移で大量買付無く、前年同期比微減、第4四半期は為替・北米市況・中国市況次第も日本は需要期で前年同期並みの見通し。

(3) 欧州材製材品供給

29年第1四半期実績は前期買付旺盛で一部入荷遅れあり、入荷は増。第2四半期は前期買付分不需要期入荷のためコンテナ不足で入荷遅れ気味、前年同期比減、第3四半期は前期買付で羽柄類買い控えであるが、RWラミナ、集成材は需要旺盛で供給不足感、第4四半期は羽柄材市況に陰り見え、買い控、より鮮明になり船賃値上げ、円安、現地夏休み操業短縮で前期ほど入荷伸びないと予想。

(4) 北洋材丸太供給

29年第1四半期実績は低調な入荷数量で前年同期比減。第2四半期は合板メーカーからの堅調な引合及びアメリカ川出し材入荷開始するも前年同期比減、第3四半期は合板メーカー向け輸入見込まれ昨年同期比増、第4四半期は前年同期比減の見通し。

(5) 北洋材製材品供給

29年第1四半期実績は円安、旺盛な中国需要で対日は入荷減。第2四半期は前期より増加も、前年比並、第3四半期は

6、7月の天候、為替次第も例年入荷減のため前期より減少し、前年同期比減、第4四半期は8、10月の天候、為替次第も日本の需要期で前期並みの見通し。

(6) 輸入構造用集成材供給

29年第1四半期実績は前期買付旺盛、一部入荷遅れもあり入荷は増加。第2四半期はルーマニア大手工場3、4月積みスキップ、他でも出荷遅れ等あり、前年同期比減、第3四半期は、船賃値上げ、ルーマニア工場も生産半減、稼働再開したポーランドの工場の新規契約大きく増えないがRW梁中心に引合い旺盛で前期並、管柱等は需要減見込まれるため前年同期比で減の見通し。

10. 南洋材丸太(製材用)、南洋材製材品の需要動向

(1) 南洋材丸太(製材用) 需要 29年第1四半期実績は供給に見合った出荷で前年同期比減。第2四半期は4月単月増も、丸太入荷減から前年同等もしくは下回る、第3四半期及び第4四半期は供給に見合った需要で前年同期比減、丸太入荷減少続き、ティンバープレミアム税率引き上げもあり丸太値上げが予想され、さらに供給面で厳しくなると予想。

(2) 南洋材製材品需要

29年第1四半期実績は住宅着工好調も非住宅若干鈍く前年並の需要。第2四半期は住宅着工好調で前期並み、第3四半期は住宅着工好調推移で需要に大きな変動ない、第4四半期は住宅着工昨年並みなら前年以上の需要あると思われ、非住宅物件の増加も予想される。

11. 国産、輸入合板の需要動向

(1) 国産製造合板需要 29年第1四半

期実績は新設住宅着工好調で需要も前年比1%増、大手ハウスメーカー、大手プレカット工場とも手持ちの仕事消化し、中小工務店・ビルダーの納入も進んだ。国内製造の在庫量は、前四半期比2%増も前年比74%。第2四半期は大手ハウスメーカー及び大手プレカット工場共比較的旺盛な住宅受注で仕事量底堅く、中小工務店・ビルダー向け受注残は流通店倉庫への納入進んだ。中国、九州地区では旺盛さ続き、東日本では納入充足感出て落着いており、荷動き・価格に地域間格差出ている。第3四半期は東日本では大手ハウスメーカー、大手プレカット工場とも6月から仕事量増で稼働上がり好調さ回復、中小工務店・ビルダーは供給力の増加を睨みながらの手当。フロリング

針葉樹合板の需要は増、納期遅延は解消され対前年同期比わずかに上回る需要見通し。第4四半期の針葉樹構造用合板は大手ハウスメーカー並びに大手プレカット工場とも厚物を含め手当を行うと考えられ、中小工務店・ビルダーも供給に余裕が出るメーカー姿勢を睨みながらの手当、在庫積み増には至らず。オリ・パラ用施設の針葉樹型枠合板を一部型枠納材業者が手当てを進める。前年比で新設住宅着工は若干減少、非住宅の需要増大でもカバーできず、需要は前年を僅かに下回る見通し。

(2) 輸入合板需要

29年第1四半期実績は入荷遅れ輸入合板順調に入荷し需要は前年比12%増。国産針葉樹構造用合板の代替え需要取まり、輸入型枠用合板需要も低調。フロリング用合板需要は国産針葉樹合板の供給増えずフロリング

メーカーは購入を続け好調維持。第2四半期は家具・厨房等産業用需要の薄物合板・中厚物合板はカラー・プリント製品合板が合板から繊維板へ転換続き、合板用需要は減。12mmの構造用合板需要は国産針葉樹合板の供給増加で、輸入構造用需要は落ち込むと思われる。第3四半期はサラワク州ティンバールプレミアム税率引き上げを織り込んだ輸入型枠用合板6月積み対日輸出価格は、前月比5%値上げで決着、7月積みも上がる見込み、一部で国内価格値上げを見越し手当てに入るも、継続した買入は入らず型枠業者の輸入合板確保の見通し不透明、構造用減、型枠用横ばいで前年比若干の減の見通し。第4四半期はコンクリート型枠需要増も中高層建設は比較的型枠使用少ない鉄骨造増え、逼迫には至らず、フローリング用合板は床暖房用床材が針葉樹合板は反り等不具合発生のため、南洋材フローリング合板の根強い需要継続。通常の住宅着工戸数前年比減が見込まれ国産構造用合板供給増のため輸入構造用合板需要伸びる可能性低く前年を下回る需要に。

12. 南洋材、輸入合板の供給動向

(一) 南洋材製材品供給 29年第1四半期実績は降水量多く前年同期比減。第2四半期は第1四半期出材遅れがキャッチアップされ増となる予定が雨季長引き昨年並み、第3四半期はサラワク州からの出材減により前年同期比減、第4四半期はサラワク州伐採税も落ち着き昨年並みに回復と見通す。

(二) 輸入合板供給 29年第1四半期実績は昨秋新規契約量増、テト、中国正月

前集中入港で前年比大幅増。第2四半期は前年同期とほぼ同レベル、国内在庫減少傾向から新規契約順調で23〜24万㎡/月で推移、第3四半期は5月よりマレーシア中心に天候不順で原木不足深刻化、7〜8月のマレーシア合板入港量大幅落ち込み予想も昨年同期とほぼ同レベル、第4四半期は、ほぼ昨年同期同レベルで推移、CWF法の影響で中国、ベトナム合板入港量減少の可能性あるが不透明。

13. 国内製造合板供給

29年第1四半期実績は住宅着工の回復で需要増、国内合板工場の最大限稼働、輸入合板の減少傾向、フロア合板用合板需要増、生産能力アップにより前回予想を上回る。第2四半期は同じ要因により前回予想を上回り、在庫は増加傾向、第3四半期は更に新規工場稼働により前回予想より増加、第4四半期は前同期様の要因により前期並みと見通す。

14. 集成材及び国内製造構造用集成材の供給動向

29年第1四半期実績は例年需要盛り上がり、生産日数少なく生産量落ち込む傾向も、荷動き堅調、この期としては高水準の生産量。第2四半期は需給が落ち着きつつあり、生産量は第1四半期好調だったこと、九州、山形で新規工場の稼働などもあり、生産量を伸ばしている。第3四半期は為替、コンテナ船入港遅れ等から輸入ラミナ供給にタイト感、需要の大きな変動なく、秋需等への期待もあり、前期並みの生産量を想定、第4四半期は需要の大きな変動なく、需要の先行き不安も出てくる可能性、前期よりやや生産量は落ちると想定。

■日EU・EPA 農林水産物の大筋合意等の概要 (関係分)

平成29年7月6日、農林水産省は、「日EU・EPA 農林水産物の大筋合意の概要」を公表した。ポイントとしては、「林産物については、構造用集成材等の即時関税撤廃を回避し、一定の関税撤廃期間を確保しました」とのこと。具体的には、「我が国のEUからの輸入」について、「(2) 林産物 構造用集成材、SPF製材等の林産物10品目について、関税撤廃するものの、即時撤廃を回避し、一定の撤廃期間を確保(段階的削減を経て8年目に撤廃)」というもの。主な現行関税率は、5%〜6%(パーティクルボード、OSB)、4.8%(SPF製材)及び3.9%(構造用集成材)。これが、毎年0.3%〜0.8%程度ずつ緩やかに減少することとなる。10品目とは具体的に、SPF製材(住宅資材)集成材原料ラミナ)、構造用集成材、パーティクルボード・OSB、加工木材(床材、壁面など)、くい及びはり(建築物の柱及び梁)、その他建築用木工品(CLTを含む)柱、梁、桁など、構造物の耐力部材)、たる・おけ、造作用集成材、針葉樹合板、広葉樹合板。直近のEUからの年間平均輸入額は10品目合計で1.362億円。大筋合意を踏まえ、自民党PPP等総合対策本部は、政策対応基本方針及び強い農林水産産業構築のための基本方針を公表し、構造用集成材等の木材製品については、「日本産の競争力を高めるため、加工施設の効率化、競争力の

ある製品への転換、効率的な林業経営が実現できる地域における原木供給の低コスト化等を推進する。(施策例 効率的な林業経営が実現できる地域への路網整備、高性能林業機械の導入等の集中的な実施。木材加工施設の生産性向上及び競争力のある品目への転換支援等。)」としている。林業の成長産業化による地方創生、国産材利用拡大等への逆風とならないよう、影響緩和のための万全の対策を期待したい。

■CWF法に係るQ&A(平成29年6月29日版)(抄)

林野庁から、CWF法に係るQ&A(平成29年6月29日版)が公表された。関係部分の概要の一部を紹介すると、以下のとおり。詳しくは、全市連HP「会員の掲示板」をご覧ください。

・木材関連事業者

(Q)「木材等」の物流と商流に係る事業者が異なる場合には、どちらが木材関連事業者に該当するのか。また、輸入代行業者は、木材関連事業者に該当するのか。(A)基本的に商流上に介在する木材等を取り扱う事業者が木材関連業者に該当します。また、輸入代行を行う事業者についても、商流を担う場合には、木材関連事業者者に該当します。

・合法性の確認等

(Q)合法性の確認ができた木材と合法性の確認ができない木材とが混在したものは、合法性が確認できたものとして取り扱うのか、あるいは、合法性の確認ができないものとして取り扱うのか。(A)合法性の確認ができた木材と合法

性の確認ができない木材が混在した場合
には、合法性が確認できないものとして
取り扱います。また、本法では、合法性
の確認ができた木材と合法性の確認がで
きない木材は分別管理を行うこととして
います。

・第二種木材関連事業における合法性の
確認

(Q) 第二種木材関連事業者は、購入先
から提供された合法性の確認の結果を記
載した書類その他これに類する書類の内
容を確認することになっているが、具体
的にはどのような書類か。

(A) 具体的には、納品書、契約書等が
該当します。カタログやホームページ等
も当該書類に含み、これらの書類を併用
して確認することも想定されます。また、
「その他これに類する書類」とは、判断
基準省令第4条に定める以外のもので、
合法性の確認に資する書類を言います。

(Q) 第二種木材関連事業を行う者も、
取り扱う木材等の原材料となる樹木の樹
種、原材料となっている樹木が伐採され
た国又は地域等について、把握する必要
があるのか。

(A) 第二種木材関連事業を行う者が行
う合法性の確認において、樹種、原材料
となっている樹木が伐採された国又は地
域等について把握する必要はありません。

(Q) 建設工事の元請事業者において、
下請事業者が譲り受けた木材等は合法性
の確認の対象になるのか。

(A) 合法性確認の対象となるのは、自
ら調達する(譲り受ける)木材等に限ら
れるため、下請業者が自ら木材等を調達

し施工する場合には、その木材等につい
ては元請事業者にとって法に基づく合法
性確認の対象とはなりません。

・木材等を譲り渡すときに必要な措置

(Q) 「本法の登録等」のうち「その他合
法性伐採木材等の流通及び利用の促進に
資する制度に基づく登録、認証又は認定」
にはどのようなものがあるのか。

(A) 森林認証、○○認証、森林・林業・
木材産業関係団体の認定、あるいは、都
道府県等による森林、木材等の認証で伐
採の合法性確認等を行うものなどがあり
ます。

(Q) 商流と物流が分かれる場合、どの
者に対して木材等を譲り渡すときに必要
な措置を行うのか。

(A) 基本的に、木材等の所有権を移転
する者に対して譲り渡しの措置を行うた
め、商流を担う者に対して木材等を譲り
渡すときに必要な措置を行います。

■平成29年7・8月期林野
庁人事異動(敬称略 順不同)

- ・退職 今井敏(林野庁長官)・林野庁
長官 沖修司(林野庁次長)・林野庁次
長 牧本幸司(内閣官房内閣審議官)・
大臣官房付 三浦正充(林政部長)・林
政部長 渡邊 毅(大臣官房政策課長)・
国交省国土情報課長 坂勝浩(林政部企
画課長)・企画課長 山口 靖(経営局
金融調整課長)・退職 中井正博(情報
分析官)・情報分析官 瀬戸宣久(東北
局長)・東北局長 小島孝文(森林整備
部整備課長)・森林整備部整備課長 宇
野聡夫(計画課首席計画官)・計画課首
席計画官 箕輪富男(施工企画調整室



(林野庁: 沖修司長官)

- 長)・林野庁付 池田直弥(九州局長)・
九州局長 原田隆行(国有林野部経営企
画課長)・国有林野部経営企画課長 吉
村 洋(国有林野部業務課長)・国有林
野部業務課長 橋 政行(大臣官房調査
官)・大臣官房調査官 長崎屋圭太(森
林整備部計画課総括)・森林整備部計画
課総括 石田良行(林政部木材産業課総
括)・林政部木材産業課総括 大道一浩
(国有林部業務課補佐)・国有林部業務課
補佐 高塚慎司(東濃署長)・東濃署長
秋山広(林野庁木材産業課課長補佐)・
森林整備センター森林管理部長 稲本龍
生(林政部木材貿易対策室長)・林政部
木材貿易対策室長 畑 茂樹(森林整備
部海外林業協力室長)・森林整備部海外
林業協力室長 塚田直子(森林整備部森
林保全推進官)・森林整備部付 木村稷
(四国局業務管理官)・四国局業務管理官
江坂文寿(中部局計画保全部長)・中部
局計画保全部長 鈴木正勝(宮崎署長)・
宮崎署長 飯干好徳(森林整備センター
森林管理部長)・道局分析官 横山誠二
(網走西部署長)・網走西部署長 武田祐
介(道局部付)・熊本南部署長 工藤
孝(宮崎北部署長)・宮崎北部署長 黒
木慶次郎(九州局監査官)

雑 記 帳

先日、一般紙の夕刊に、「青森
ヒバ林復元へ本腰」という大き
な見出しが躍っていた。「青森
ヒバ」の天然林が50年で4分の
3程度に減っていることを受
け、本格的復元に乗り出す」と
のこと。御承知のように、青森
ヒバ(標準和名 アスナロ)は、日本固
有種で、ゆっくり成長した木目は、緻密
で美しく、やや黄色味を帯びた白色と独
特の香りがあり、腐りにくく・シロアリ
にも強い耐久性がある。中尊寺金色堂や
弘前城などの社寺仏閣等伝統建築にも多
く用いられてきたが、かつて、数十万m
を誇った年間伐量は、最近では、1万m
程度にまで落ち込んでいる。東北森林管
理局が「復元推進エリア」を設定し、若
木の上木伐採、青森ヒバの苗木の植え込
み等の復元作業を行うとのこと。日本に
は、青森ヒバのほか、秋田天スキ及び木
曾ヒノキの三大美林(いずれも国有林が
主体)が有名で、過去には膨大な資源量
を誇ったが、戦後の復興・高度経済成長
期等の過伐、自然保護意識の高まり等に
より、利用できる資源量は激減あるいは
枯渇している現状にある。ここ百年ほど
の天然林の施業については、理論はとも
かく、施業の実態としては、うまくいっ
ている例は多くはなく、近年の我が国の
林業技術者の反省すべき「道標」であり、
今後の目標とも言えよう。伝統的建築技
術の維持・発展は、勿論であるが、何分、
伐採までに百年単位の時間がかかる天然
木・天然林施業のこと、一時の話題にと
どまることなく、未永く、かつ地道な取
組を関係者の一人として期待したい。



暑中お見舞い申し上げます



(この度の九州北部豪雨等により被災された方々に対して、心より深くお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をご祈念申し上げます。)

株式会社東海木材相互市場

代表取締役社長 **鈴木 和 雄**

本 社

〒456-0033 名古屋市熱田区花表町21-1

電 話 052-881-1551

F A X 052-881-3082

E-mail info@kirakuninet.com

http://www.kirakuninet.com

西部市場 市日 毎週火曜日

〒490-1444 愛知県海部郡飛島村木場1-17

TEL 0567-55-0155 FAX 0567-55-2538

大口市場 市日 毎週金曜日

〒480-0121 愛知県丹羽郡大口町河北2-2

TEL 0587-95-1101 FAX 0587-95-1105

サテライト美並

〒501-4101 岐阜県郡上市美並町上田字小倉塚2516番1

TEL 0575-79-5055 FAX 0575-79-5060

サテライト名倉

〒441-2432 愛知県北設楽郡設楽町東納庫ムカイ山16番

TEL 0536-63-3456 FAX 0536-63-3535

飛騨匠工場

〒506-0035 岐阜県高山市新宮町112番地B

TEL 0577-36-5439 FAX 0577-36-5939

東京木材市場株式会社

代表取締役社長 **市 川 英 治**

代表取締役専務 **村 井 宏 次**

本 社・市場

〒136-0082 東京都江東区新木場2-1-8

T E L 03-3521-7111 (代表)

F A X 03-3521-7115

市 日 毎週木曜日

T E L 03-3521-7121 (市売)

http://www.tomoku-ichiba.co.jp

越谷センター

〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町1-130

T E L 048-989-0171

F A X 048-989-0174

東京木材市場協会

会 長 市 川 英 治

新東京木材商業協同組合

理事長 **廣木 俊一**

〒171-0044

豊島区千早一丁目二〇一三

電 話 〇三―三九五九―七八二一
F A X 〇三―三九五八―三五九二

東京新宿木材市場株式会社

代表取締役社長 **萩原 友隆**

〒156-0057

世田谷区上北沢五丁目三七―一八

電 話 〇三―三三三〇―四一五三一
F A X 〇三―三三三〇―四一四三一

東京中央木材市場株式会社

代表取締役社長 **飯島 義雄**

〒279-0032

浦安市千鳥一三

電 話 〇四七―三五五―〇〇〇一
F A X 〇四七―三五五―一三三三

丸宇木材市売株式会社

代表取締役社長 **押本 雅壽**

〒136-0071

江東区亀戸六丁目五七―一九

電 話 〇三―三六九〇―四一八一
F A X 〇三―五六二八―三七二二

株式会社東京第一木材市場

代表取締役社長 **大島 誠**

〒300-0873

茨城県土浦市荒川沖町

南区一丁目一三

電 話 〇二九―八四二―九八八一
F A X 〇二九―八四二―九八六二

東京木材市場株式会社

代表取締役社長 **市川 英治**

〒136-0082

江東区新木場二丁目一八

電 話 〇三―三五二―七一七一
F A X 〇三―三五二―七一五五

株式会社東京木材相互市場

代表取締役社長 **西村 考広**

〒179-0081

練馬区北町六丁目三二―三六

電 話 〇三―三九三―四一四二
F A X 〇三―三九三―四一四二

東京木材市場協会 事務局

〒112-0004

東京都文京区後楽一丁目一二

電 話 〇三―三八一―八二九〇
F A X 〇三―三八一―八二九〇

株式会社 大阪木材相互市場

代表取締役社長 花 尻 忠 夫

定例市日

第一・第四 火曜日

月二回

〒552-0013 大阪市港区福崎一丁目二丁目

電話 ○六一六五七四一一一三一

FAX ○六一六五七四一七五四四

株式会社 関西木材市場

代表取締役会長 久 我 一 郎

代表取締役社長 久 我 四 郎

開催日

8月24日(木) 9月7日(木)・22日(金)

各市 午前10時より開市

〒五五九一〇〇三二

大阪市住之江区南港東一丁目二番二〇号

電話 ○六一六六一二一一一五一 (代表)

FAX ○六一六六一二一一一五二

千葉県木材市場協同組合

理事長 吉 岡 實

定例市日 毎週木曜日

〒283-0823 千葉県東金市山田800

TEL. 0475-55-6161

FAX. 0475-55-6171

<http://www.mokuichi.or.jp/index-kumiai.htm>

木曾官材市売協同組合

理事長 野 村 弘

定例市日

原木	萩原事務所	月1回
	坂下事務所	月2回
	国有林土場活用委託	月1回
製品		月1回

〒399-5604 長野県木曾郡上松町正島町2-45

電話 0264-52-2480 (代表)

<http://www.kisokan.com>

茨城県木材市場協会

〒310-0826 水戸市渋井町50番地
株式会社 茨城木材相互市場 内
TEL 029-221-3111
FAX 029-221-3393

市日 毎月13日

株式会社茨城木材相互市場

代表取締役社長 打越 芳男
代表取締役専務 大谷 知行

〒310-0826 水戸市渋井町五〇

電話 ○二九一二二一三二二一代

市日 毎月18日

株式会社ミトモク

代表取締役社長 安藤 裕一

〒310-0851 水戸市千波町一八八四

電話 ○二九一二四一一三二一代

市日 毎週木曜日

株式会社東京木材相互市場
相互 筑波 市場

代表取締役社長 西村 考広
市場長 飯島 嘉治

〒300-2635 つくば市東光台五-三
電話 ○二九一八四七一四二八代

市日 毎週火曜日

株式会社東京第一木材市場
土 浦 市場

代表取締役社長 大島 誠

〒300-0873 土浦市荒川沖町南区一-二三
電話 ○二九一八四二一九八八一代

市日 毎週金曜日

丸字木材市売株式会社
下 館 市 場

代表取締役社長 押本 雅壽
市場長 月ノ井 和弥

〒304-0005 下妻市大字半谷一〇〇一三
電話 ○二九六一三〇一七〇〇一代

関東木材センター協会

会 長 内 田 鉄 夫
 副会長 飯 島 義 雄
 会 計 本 多 雅 治
 監 事 菊 地 實

事務局

〒171-0044 豊島区千早 1-20-13
 新東京木材商業組合内
 電 話 03-3959-7811
 F A X 03-3958-3592

愛知県木材市場連盟

会 長 西 垣 泰 幸

(株)東海木材相互市場 西 垣 林 業 (株)
 三河材流通加工事業協 (株)東海木材市場
 (株)衣浦木材市場 本 州 市 売 (株)

愛知県木材市場連盟問屋部会

会 長 桃 井 成 人

事務局 〒467-0855
 名古屋市瑞穂区桃園町 3-23
 西垣林業(株)名古屋本社内
 T E L 052-811-7131
 F A X 052-824-8297

全日本木材市場連盟北陸支部

支部長 東 角 操

【加盟木材市場】

株式会社富山合同木材市場 (076-452-1155)
 株式会社高岡木材市場 (0766-52-2131)
 富山県森林組合連合会 (076-434-1750)
 福井県嶺北木材林産協同組合 (0776-53-0221)
 福井県木材市売協同組合 (0776-41-3730)
 福井県森林組合連合会 (0776-38-0345)
 若狭木材流通センター協同組合 (0770-45-3500)
 株式会社名田庄ウッドイヤーセンター (0770-67-3386)

徳島県木材市場連盟

会 長 岡 田 育 大

〒770-8001
 徳島市津田海岸町 4 番31号
 株式会社ゲンボク内

大 一 木 材 (株) 088-664-6333
 丸 幸 産 業 (株) 088-663-2303
 (株)徳島中央木材市場 088-662-5210
 (株) ゲ ン ボ ク 088-663-2275

三重県木材市売連盟

会 長 山 際 茂 樹
 副会長 辻 本 林 義

【加盟木材市場】

鈴 鹿 木 材 (株) 熊野原木市場(協)
 (株)東京木材相互市場 伊 山 市 売 木 材 (株)
 三重事業所マルタピア (有)美杉木材市場
 ウッドピア市売(協) 松 阪 地 区 木 材 (協)
 中 川 林 業 (株) 松 阪 木 材 (株)
 (有)丸天木材市場 尾 鷲 木 材 市 場 (協)

事務局 〒510-0264 鈴鹿市徳居町46-2
 鈴鹿木材株式会社社内
 TEL 059-372-2808 FAX 059-372-2765

(一社)全日本木材市場連盟

会 長 市 川 英 治

(事務局)

専務理事 小 合 信 也
 事務局長 立 花 登

<http://www.zennichiren.com/zennichi22@gmail.com>

電子メール利用推進中ですので
 ご協力お願いいたします。

愛媛県木材市場連盟

会 長 梶 原 重 雄

〒798-1124 宇和島市三間町増田389
 大木坑木有限会社宇和島出張所内

大木坑木(有)宇和島出張所 (0895) 58-3033
 (株)宇和原木市場 (0894) 62-2851
 (株)久万木材市場 (0892) 21-1175
 (株)日吉原木市場 (0895) 44-2822

香川県木材市場連盟

会 長 樋 口 高 良
 副会長 加 藤 浩 一

〒760-0055
 高松市観光通 2-10-15
 (株)太洋木材市場内

(株)太洋木材市場 TEL(087)833-2311
 FAX(087)831-3040
 ナイス(株)香川営業所 TEL(0875)25-3099
 FAX(0875)24-1336

秋田中央木材市場株式会社

代表取締役社長 工 藤 茂 丸

〒010-0941
 秋田市川尻町字大川反232-7
 TEL 018-863-2121
 FAX 018-863-2120

市日 第1・第3水曜日
株式会社 仙台木材市場
 代表取締役社長 守 屋 長 光

〒983-0036
 仙台市宮城野区苦竹 2 丁目 7 番30号
 TEL 022-232-1101
 FAX 022-232-1107
<http://www.s-itiba.com/>

青森県森林整備事業協同組合
 青森原木市場

理事長 前 田 武 廣

〒030-0955
 青森市大字駒込字桐ノ沢129-1
 TEL 017-743-5411
 FAX 017-743-5410

愛知県木材市場連盟 問屋部会

部会長 桃井成人

〒480-0121
丹羽郡大口町河北2-2
服部産業(株)内
TEL 0587-95-5122

市日 毎週水曜日

松阪木材株式会社

取締役社長 村林 稔

〒515-0088
三重県松阪市木の郷町21
TEL 0598-20-2323
FAX 0598-20-1082

全日本木材市場連盟 中国支部

支部長 山下 薫

〔加盟木材市場〕

石谷林業(株)智頭支店 0858-75-0635
(株)倉吉木材市場 0858-26-0251
(株)米子木材市場 0859-27-0721
(株)出雲木材市場 0853-21-1855
(株)益田木材市場 0856-22-0697
(株)福山中央木材市場 0849-63-1001
(株)勝山木材市場 0867-44-2600
津山木材市売(株) 0868-22-6246
(株)津山総合木材市場 0868-28-7777
(株)岡山木材相互市場 086-296-0306
(株)岡山木材市場 086-272-2178
真庭木材市売(株) 0867-42-0602

事務局 真庭木材市売(株)内
〒719-3203 岡山県真庭市富尾1
TEL 0867-42-0602
FAX 0867-42-2600

今年は創立70周年

11月には第60回
全国銘木展示大会を
開催します!!

岐阜県銘木協同組合

理事長 吉田芳治

岐阜市茶屋新田3丁目90番地
tel 058-279-0788 fax 058-279-2156
URL <http://www.gifu-meiboku.com>
E-mail meiboku@ccom.or.jp

各市のご協力・感謝申し上げます

株式会社九州木材市場

取締役会長 田中正史
取締役社長 田中昇吾
取締役副社長 田中史郎
定例市日 8日 23日

〒877-1231
大分県日田市大字三和2726-10
TEL 0973-24-3625
FAX 0973-24-3626

(協)高知県木材市場連盟

高知県林材株式会社

株式会社ゲンボク市場

事務局 株式会社ゲンボク市場内

〒781-5101
高知市布師田字金山3936-1
TEL 088-845-1790
FAX 088-845-1793

九州木材市場連合会

「熊本地震」の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

会長 佐藤耕三
肥後木材(株)

副会長 林雅文
(株)伊万里木材市場

副会長 五十嵐可久
都城地区製材業協同組合

事務局 肥後木材株式会社内
〒861-8012 熊本市東区平山町
2986番11号

TEL 096-389-0022
FAX 096-389-8911

林業・木材産業の皆様の融資を支援いたします。

当基金は、法律により国や都道府県の出資をもとに設立された公的機関で、昭和38年の林業信用保証制度の創設以来、多くの皆様にご利用いただいております。

「銀行から融資を受けたいけれど・・・」とお考えの林業・木材産業の経営者の皆様、もしも返済できなくなった場合に当基金が返済を肩代わりする債務保証を利用すれば、融資が受けやすくなります。

- 事業に必要な資機材の購入、人件費や燃料費の支払い
 - 災害等で事業に入れない期間の掛かり増し経費
 - 事業規模の拡大
- などで一時的な資金が必要な方にもご利用いただけます。

まずはお近くの銀行、信用金庫、信用組合などの金融機関、当基金の窓口へお気軽にご相談ください。



林業・木材産業信用保証

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号(コービル11階)
TEL:03(3294)5585~5586 FAX:03(3294)5595
URL:<http://www.jafflc.go.jp>